



[野菜部門]

[農業研究所ホームページへ](#)

6. アスパラガス褐斑病に対するコサイド 3000 の防除効果は展着剤の加用により向上する

[要約]

県内の露地アスパラガス産地では褐斑病の発生が大きな生産阻害要因となっており、本病の防除に使用されているコサイド 3000 は、展着剤の加用により防除効果が向上する。

[担当] 岡山県農林水産総合センター農業研究所 病虫研究室

[連絡先] 電話 086-955-0543

[分類] 情報

[背景・ねらい]

県内の露地アスパラガス産地では褐斑病の発生が大きな生産阻害要因となっており、薬剤散布による防除が行われている。現地では殺菌剤の付着を高めるために、展着剤を加用する事例があるが、殺菌剤の防除効果への展着剤加用による影響は明らかでない。そこで、本病の防除薬剤として使用されているコサイド 3000 への展着剤加用の効果を明らかにし、効果的な防除対策に資する。

[成果の内容・特徴]

1. コサイド 3000 に薬害軽減効果のあるクレフノンを加用し、展着剤のニーズ、ミックスパワー、まくぴか、ハイテンパワーまたはK. Kステッカーの加用により防除効果が向上する（図1）。

[成果の活用面・留意点]

1. コサイド 3000 の散布にあたっては、薬害防止のためクレフノンを加用し、高温、多湿時の散布は控える。なお、クレフノンの加用は収穫物に汚れが生じる恐れがある。
2. 本試験はポット苗を用いた試験であり、圃場においては未検討であるため、薬剤の散布にあたっては、自身の圃場で事前に薬効・薬害を確認した上で行う。
3. 殺菌剤によっては、展着剤の加用により、防除効果が低下する場合もある。



[具体的データ]

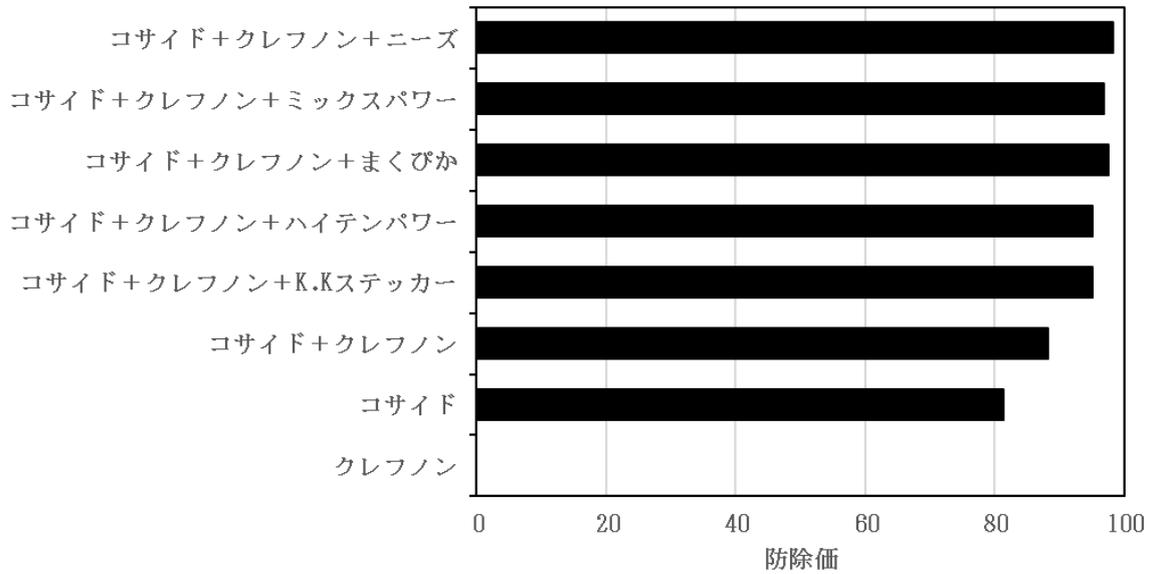


図1 クレフノン及び展着剤の加用がアスパラガス褐斑病菌株に対するコサイド3000の防除効果に及ぼす影響

- 注1) 試験には、機能性展着剤のニーズ、ミックスパワー、一般展着剤のまくびか、ハイテンパワー、固着性展着剤のK. Kステッカーを供試した
- 注2) 供試薬剤の希釈倍率は、クレフノンは100倍、コサイド3000は2,000倍、ニーズは1,000倍、ミックスパワーは3,000倍、まくびかは3,000倍、ハイテンパワーは5,000倍、K. Kステッカーは2,500倍とした
- 注3) 供試菌株は県内で採集した「k②9-1」で、ガラス温室内の1年生ポット苗を用いた予防効果を確認し、試験は3回行った

[その他]

研究課題名：アスパラガス斑点性病害の発生実態の解明と防除対策の確立

予算区分・研究期間：交付金（難防除病害虫防除技術対策事業費）・令和4年度

研究担当者：矢尾幸世

関連情報等：1) 試験研究主要成果、[令4 \(77-78\)](#)